



参議院議員 全国比例区

大島九州男



後援会事務所

福岡県直方市知古764-1
電話0949-22-2010

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館910号室
電話03-6550-0910
kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい
<http://kusuo-o.net/>

大島九州男
キャラクター

Qちゃん



迎春 世界平和の 実現をめざして

皆様におかれましては、おすこやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

おかげ様で、皆様に国会へ送り出していただいてから6回目の新年を迎えさせていただきました。

本年も誠心誠意、一杯皆様のために働かせていただく所存です。

さて、我が国は国難に直面しているといえます。東日本大震災からの復興、少子高齢化や財政赤字の問題などの「内なる課題」と、ヨーロッパの信用不安や新興国の台頭という「外的な課題」をいかにして解決し

ていくのか、まさに時代の転換期にあります。

特に東日本大震災からの復興については、政治家だけでなく、国民の一人ひとりが全力で取り組みなければならぬ課題であり、私も副幹事長、そして政策調査会副会長として、支援活動を展開させていただいてきました。

今後も与野党の垣根を越え、東日本大震災からの復興に全力で取り組む決意であります。

また、先の衆議院選挙を受け憲法改正に関する議論が喚起され、平和に関しての世論は大変憂慮すべき事態となり

つつあります。

このような時にこそ、私たち日本人は、67年前の過ちを真摯に反省し「危険をおかしてまで武装するよりも、むしろ平和のために危険をおかすべきである」との言葉にあるように、今こそ平和への思いを心ひとつにしていくべき時であります。

私たちが人類共通の願いである「世界平和」の実現に向け、内外の課題解決に取り組みながら、本年も皆様と共に活動させていただくことをお約束し、年頭のごあいさつとさせていただきます。



理事に選任

東日本大震災からの

復旧・復興にも全力

大島議員は参議院経済産業委員会の理事に選任されました。同委員会は、経済産業省を主管する委員会として21名が委員として名を連ねています。現下の厳しい経済情勢の中、限られた予算をいかに有効活用していくべきかを議論し、各法案の



審議を迅速に進めていかなければなりません。

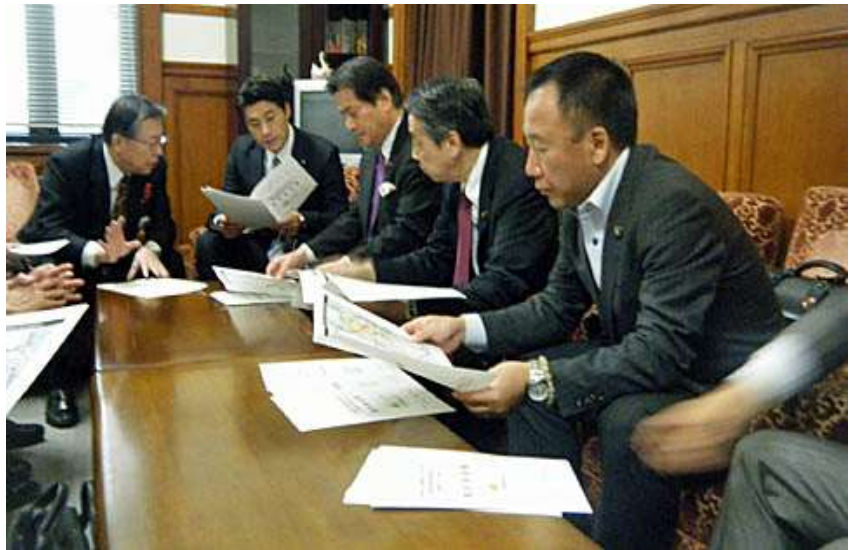
現在、衆議院と参議院では第一会派が違う状態にあり、政局重視の法案審査となる可能性が指摘されています。

しかしながら、この重要な局面において、何よりも国民の視点に立った政策を推進していかなくてはなりません。

中小企業政策の推進

3月で期限切れとなる「中小企業金融円滑化法」はリーマンショック後に、中小企業の資金繰りを支援するために平成21年12月に施行され、返済猶予を定めるなど、大きな効果が得られました。

しかし、この法律が期限切れとなることから、各方面から延長を求める意見が寄せられています。



大島議員は、自身も中小企業経営の経験者として、この課題に取り組み、国内470万社、約3千万人の雇用の場として地域を支える中小企業が資金繰りで困らないよう全力で支援していきます。

原発ゼロ社会の推進

経済産業委員会では、エネルギーの議論をするのも大切な仕事です。

大島議員は原発ゼロ社会実現のため、長期的には再生可能エネルギーのさらなる普及を議論しながら、中期的にはメタンハイドレートやシェール

ガス等の活用を目指してまいります。原発に頼らず、しかも環境負荷の低い電力のあり方について、しっかりとした議論が必要です。

民間教育の推進

大島議員は、学習塾を経営しながら、地域の子どものたちの健全な育成に携わってきました。

学習塾は当初、経済産業省が主管してきましたが、近年、学習塾等の民間教育機関が果たす役割が社会的にも高く評価されるようになり、今や学習塾は文部科学省からも一目置かれる存



在へと成長しています。今後も、大島議員は民間教育の推進を行ってまいります。

復興にも全力

復興についても経済産業委員会が担当します。

津波・原子力災害からの再建を期す中小企業向けのグループ補助金は、大島議員がかねてから取り組んできた政策です。

被災した中小企業が複数集まって再建を目指す企業体に対して、ほぼ全額を支援するグループ補助金は、第6次募集が行われるほど好評です。

また、大島議員が取り組んできた原子力災害からの復旧・復興についても、除染、賠償を担当するのが経済産業委員会であり、東日本大震災からの復興に全力で取り組んでいく所存です。

通常国会に向けて

大島議員は通常国会においても引き続き全力で皆様のために働かせていただきます。